

新潟理窓 第15号



ご挨拶

新支部長

若井 静男

秋のいろ増す爽やかな季節となつてまいりました。

会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

私も時の流れの速さを感じる年齢となり、初めて教壇に立った頃から顧みるとき、先輩の皆様方から豊かな経験に元づくあたたい御指導をいただいたことが思い起こされます。また、歴代の支部長様はじめ多くの先輩の皆様方には大変お世話になったことに深く感謝しております。今までお世話いただいたことに、報いる思いで微力をも顧みず支部長をお引受けいたしました。会員の皆様の御支援をお願いいたします。さて、母校理科大も本年は記念すべき創立百二十周年を迎えました。卒業生もこの三月で十四万名を越え、各界で御活躍され実績をあげておられます。少子化、不景気で私大の危機が叫ばれておりますが、教育、研究活動ともに母校が高い評価をされていることは皆様のご承知の通りです。



退任に際して

前支部長

市橋 成生
(40理・数)

理窓会県支部も歴代支部長様、役員の皆様御尽力により、学生時代を思い、年齢も職場も越えて語り合う研鑽と親睦の会として発展してまいりました。今後、ますます活気ある県支部となりますよう皆様方の御指導と御協力をお願い申し上げます。(42理・数)

会員の皆様には、ますます御健勝で御活躍のことと存じます。諸々の事由により会報の発行が遅れ、挨拶が大変遅れ失礼いたしました。平成十一年九月の県支部総会において、支部長に選任され、南保悟先生からその責を引き継いで二年が経過しました。そして今年八月の県支部総会で、若井静男新支部長にバトンを渡しました。在職中の御協力・御支援に心から感謝申し上げます。

役員会や県支部総会でも取り上げられておりますが、今後の支部活動の課題がいくつもあります。会員構成が教育関係と企業関係の会員ですが、両者が一緒に活動していく方策の問題、会員名簿の若い会員の整備と名簿発行・配布の問題、支部財政の維持の問題、会報発行の問題、事務局担当の問題等があります。どれもが相互に関連して

おり、整理し推進することは容易ではありませんが、新しい役員の方々を中心に御尽力願うものです。退任に当たり、母校に寄せる思いを大切にし、会員の皆様のますますの御発展と県支部の活動が一層活発になりますよう祈念いたします。ありがとうございます。

理想会幹事に決定

若杉 浩栄 氏
田中 實 氏

理想会会則による任期満了に伴い、平成十二年十一月に理想会本部より、各地区幹事定員(本県は二名)の決定と幹事の県支部推薦者の報告を求める通知が来しました。昨年の県支部総会(八月・高田)で了解をいただいておりますように、幹事・支部長・副支部長・事務局とで相談し、若杉浩栄氏(S22理化)、田中實氏(S45理・数)の二氏を選出し報告いたしました。

新幹事には、大変御苦勞をおかけしますがよろしく願います。また、長年にわたり幹事として御活躍・御指導いただいた平出鉄次氏には、心から感謝申し上げます。

同窓に想う

木南 誠 (49理工・数)

昨春二十二年ぶりに、初任の地・高田で再び勤務することとなった。百周年を迎える伝統校に、いきなり転動してきて、同窓の方々の母校に対する熱い思いとその行動力に感嘆させられる一年であった。

思えば、新採用として不安一杯で高田盲学校に赴任したとき、私の大学ノートを見た前支部長のN先生が「同じ大学だね」と話しかけてくださった。以来、従業の進め方や生徒の指導について等、いろいろな事を教えていただいた。当時は、現在のような新採用研修もなく、指導教員や教科指導員もいなかったが、N先生が、実質的にはその役割を果たして下さったように思う。その後のことを思うと、今も感謝の気持ちで一杯である。

また、友人の家に遊びに行つたとき、故W先生から薫陶を受けたり、インターハイなどでは当時全国高体連テニス部副部長のS先生から影に日向に面倒を見ていただいたりなど、多くの同窓の方々にお世話になり、ただただ感謝である。同窓ということは、そのことだけで、利害を超えて人と人とを自然に結びつける不思議な力を持つているものだ。同窓とはありがたきかな。

— 運命か、偶然か —

大黒 俊一 (20・9 理化)

我々は環境、社会の流れに左右されながら人との出会い、そして自分自身では、どうにもならない運命に翻弄され、喜怒哀楽の人生を歩んでいると私は思うのだが!?

私は岩手県盛岡市で生れ、父は国家公務員だった。

周囲は振興住宅地で、その後は北上川の支流、中津川が流れ、水泳、魚釣り、川を堰止め素手の魚取り。30分程歩くと花崗岩の岩山があり、岩登り、山歩き、溪谷で沢蟹とり。秋は栗、山葡萄、あけび、茸とり。冬は近くの田に張る氷の天然スケート場。山スキーと、秀峰岩手山を見上げながら、自然と共のびのびと毎日を楽しめる、恵まれた地で育った。

やがて小学校に入学。勉強は全くしないで、友人等と遊びに専念していた。1学期が終了。2学期が始まろうとしていた8月末のある日。市役所より突然出校停止の通知がきた。4月2日れの私を1日生れと誤認して入学させたので、来年もう一度一年に再入学して欲しいとのことだった。父が強硬に交渉したが、規則だからと出校を認めてくれなかった。

翌年晴れて再入学したときの嬉しさは格別だった。

然し、落第生と思われるのが一番辛かったが、諸般の事情を配慮してか、担任は級長にしてくれた。習うことは二度目なので退屈しないよう、教卓の前に私の席を決め、チョークを教務室に取りにやらせたり、黒板の字を消させたり、病人が出ると養護室にその生徒を連れて行く等の雑用係だった。1年の終了時、優等生として教科書一式、本の表紙に賞の大きい赤い判を押されたものをもらった。6年生まで教科書を買うことはなかった。1年遅れたための代償?は過評価であった。1年早かったら絶対こんなことにはならなかったと思う。然も1年早かった同級生の半数以上、戦場で帰らぬ人となったが、我々は3割弱だった。小学校1年生から波乱万丈の人生が始まっていたことになる。

旧制県立盛岡中学2年の時、父の転勤で新潟中学へ転校。卒業後の進路・就職も大きな運命の岐路になっていた。東京・横浜の大空襲では危機一髪を体験。教員時代、蔵王山の遭難、槍ヶ岳縦走の珍事。猿の集団との遭遇。外国巡検では、南ア・ケープタウンでの強盗事件等々。幸運にも無事、命に別状なく80才を迎えようとしている。運命なのか、偶然なのか、神のみぞ知るである。何故か私の行動には強烈なエピソードが付き纏う。ではこの辺で一休み。

平成12年度 理窓会新潟県支部会員収支決算報告

平成13年8月26日

摘 要	収入金額	支出金額
平成11年度より繰越金	29,303	
理窓会新潟県支部総会補助金(上越地区)		25,000
県支部会費800円×22(件)	17,600	
県支部総会開催地区還元(上越地区)200円×13(件)		2,600
県支部会員名簿		4,350
預金利息	216	
平成13年度への繰越金		15,169
総 計	47,119	47,119

平成13年度理窓会新潟県支部総会



日 時 平成13年8月26日(日)

13時30分～17時

会 場 新潟市「クオリス」

出席者 26名

総会は、室岡政幸(50理数)県幹事の全体司会の開会のご挨拶で始まり、県支部長市橋成生(40理数)のご挨拶、理窓会員630名の組織の運営の難しさと大切さ、小、中、高校に管理職の方が多く登用、増加している…等の現況についてご報告がありました。

続いて、議事に入り、議長に雅楽隆信(43理応物)を選出、報告事項として、支部事務局笠井寿栄吉(36理数)から平成12年度の事業報告、会計収支決算報告があり、理窓会代議員若杉浩栄(21理化)から本部幹事会報告がありました。

議事として、市橋成生県支部長の役員人事改選に入り、若井静男(42理数)加茂高校長を新支部長とする役員改選の承認を得、若井校長からはお引受けする承諾を得ました。次期総会を中越地区との提案があり、中越地区の会員から14年度の総会を担当引き受けるご承諾を得ました。

連絡事項として東京理科大学教育会の活動状況、等について、市橋県支部代表からご報告がありました。写真撮影の後懇親会に入り、掃部利久(32理数)の乾杯で会が始り、出席者全員からの近況報告を頂き、会は高木重雄(24理化)による万歳三唱で締めくくりました。理窓会員相互の情報交換、親睦を深めて散会となりました。(笠井記)

〔平成12年4月～平成13年3月会務報告〕

12. 6. 17

・理窓会新潟県支部役員会

出席者 14名

議 題 平成12年度の県支部活動の計画等について

会 場 クオリス

12. 8. 27

・理窓会新潟県支部総会

会 場 上越市 高田ターミナルホテル

来 賓 理窓会本部 遠藤隆一先生

出席者 23名

・平成12年版 理窓会新潟県支部会員名簿発行

12. 9. 24

・研修会

講 師、受講者 11名

講 師 理窓会県支部同窓の先生

会 場 新潟会館

同窓雑感

成せばなる!

仲道 信子 (60理・化)

私は理科大の二部を卒業しました。国家公務員の仕事をしながら四年間通い、その間、沢山の同僚・先輩を得ることができ、年令・仕事は様々ですが、今でも細く長くお付き合いをさせていただいております。

二部に入るきっかけとなったのはやはり仕事の先輩で通っていらつしやる方がいたからです。実際に入学してみると、想像以上に厳しい現実でした。それでも二部ということで、通学されている方々の勉学に対する意識は高く、団結力も強くて、その頃の思い出は私にとつて、かけがえない財産です。卒業後は、夜間中学か定時制高校の教師になりました。中学校の教師をしておりはかなわらず、中学校の教師をしております。それでも、教育実習で出会った障害を持った生徒の頑張っている姿が忘れられず、ここ七年间は養護学校に勤務しております。特殊教育は奥が深く、勉強しなくては付いて行けません。また、体力・気力も必要です。夜学で培われた精神を生かしながら切磋琢磨し今後とも何事にもトライして行きたいと思っております。

「成せば成る!」「努力!」です。

知的財産権

佐藤 茂樹 (50M)

グループ全体の生産額が世界のトップシェアである半導体シリコンウエハの製造会社に籍をおいて二十年ほどになる。周知のようにシリコンウエハは集積回路、トランジスタの基板として現代科学技術を支える不可欠のものとなった。そしてIT社会を先導するこのウエハ、デバイス(IC・TR等)の製造技術の進歩といったら驚くべきものがあり数年前の技術がほとんど陳腐化するという恐ろしいほどのスピードである。

ところで半導体に限らずこれら開発技術を独自の権利として保有し活用することが企業戦略の大きな武器として近年非常な関心事となってきた。とは言っても知的財産(特許・実用新案 etc)に価値を求める素地の歴史が諸外国(特に米国)に比べて浅い日本ではいろいろな面で新たな取り組みが始まったばかりである。最近の一例を挙げれば、TLO事業(大学から産業界への技術移転)の推進などである。

社内での特許業務に関して五年ほどになるがまだまだ社員の関心は高いとは言えない現状である。同業他社に先んじて権利取得され生産活動に支障が出るような状況にならないようテンションをあげてゆきたい。

民俗の世界に統計をもつて挑む

石田 哲弥 (42理・物理)

このたび『道祖神信仰史の研究』が名著出版から発刊されることとなった。

「民俗の研究」は生活の歴史と構造の探求といつてもいい。しかし資料の性質上、年代や実態の分析において具体性に欠けることが多い。併せて論理の追求過程で「思い入れ」や「思いつき」が往々見られ、それが時として学説となり普遍化されている場合さえある。その典型的な例が「道祖神(塞の神)」であった。

塞の神は小正月のドンドロヤキや左義長である。また道祖神は一石に男女が彫られた、ユニークな神像で石仏の中でも特に人気が高い。全国に約一万六千基が存在する。「境の神、防災の神、道の神として村落の出入口に祀られた」とされたきたが、内実はまさに魍魎魍魎とした世界であった。このたびデータ駆使し、ようやくその実態が明らかにすることができた。結果は驚くべきことに、これまでの定説をことごとく覆すものであった。数理の基本はいかなる分野でも生き、威力を発揮する。しかも確固たる論拠となることを改めて痛感し、今更ながらその恩恵に深く感謝している次第である。

新卒当時の数学教育を思い出す

岩根 卓司 (49理・数)

理科大を卒業して、早いもので二十七年達ち、その間私は、中学校教師として数学教育に携わってきた。

私の新採用は昭和四十九年である。驚いたことは、一年生の教科書に集合論の考え、二年生では剰余系、順列・組合せ、三年生では一筆書き、ネピウスの帯が代表されるような位相の考えが載っていたことである。大学で習ったことが即、中学校で教えていたからだ。どの教科書もポリニュームがあり、教えて楽しい教材が多くあったことが思い出される。その当時は、まさに「数学教育の現代化」と称し、数学的な考え方の育成に重点を置いた時代であった。

さらに、先生方や子どもたちの姿も思い出される。学習内容が多様であったせいか、先生方は教材研究に燃えていたし子どもたちは落ちこぼれもいたが、今より勉強していた。来年度から新学習指導要領の実施により、現行よりさらに学習内容や授業時間が削減される。削減したから、子どもたちの学力が高い水準になるかというところは疑問を感じる。より広い学習内容を習得して、はじめて深く考える力が湧いてくるのではなからうか。数学教育を軽視して、これからの日本の将来はあるのだろうかと感じる今日この頃である。

地区だより

恩師と再会できた支部総会

稲垣 浩一 (54理・応化)

数年前、東京にいる同級生からの勧めがあったのと案内が届いたのを機に上越地区の会に参加し、今回初めて支部総会に出席しました。

昨年IT関係のベンチャー企業を設立・独立した私は数少ない民間企業人のため最初は戸惑いもありました。しかしそれは最初だけで、懇親会の席では元・現職の先生方と、理科大のホームページのアカウトが必要とかメールの送受信操作や市販ソフトの選択方法を肴に杯を傾けながら楽しく語り合いました。

講演して頂いた理窓会本部常任理事・遠藤隆一博士から理窓会の歴史、理科大の状況等をお聞きし、日頃疎遠の母校を身近に感じることができました。また、遠藤博士は私が在学中、高分子化学の教授として教鞭を執られておりました。頭髮が白くなっ

てしまわれましたが白衣を身に付けられれば昔のままの先生に、単位が取れず困った思い出話を披露し、先生と一緒に過ごした学生時代を共に懐かしみました。大学そして教育制度そのものが変革している中で、理窓会の発展していくためには若い同窓生の声が必要です。若い世代が進んで参加できる会になって欲しいと願っております。

上数研のこと

霜越 上 (52理数)

先日、上越地区高等学校数学教育研究会(略して上数研)が開催された。年に一度、秋の一刻研究発表と大学の先生からの講義がある。

上越地区の各高校を輪番で会場校にお願いして、OBの先生方から新採用まで、上越地区で高校数学教育に携わる人達が参加し、毎年盛会である。講義では学生時代の気分に戻る一時である、またすっかり頭の回転が鈍くなってきたている自分に気付かされる時でもある。

今年には授業の関係で研究会には参加することが出来ず残念であったが、長宗雄先生をお迎えして、昨年お聴きした「吉田不等式」の続きであったとの事。講義資料を基に、参加した先生から教えてもらおうと思っている。この会の後からの懇親会がまた楽しみの一つである。各校の情報交換で教え方の悩みを話したり、講義での疑問を教授に質問するなど大変盛り上がる。また、新たに異動してきた方が同窓であった時には、杯を傾け語り合ったりする。昨年から同窓先輩の佐野達也先生が会長に就任され、二年後の北陸四県上越大会に向けて活躍されている。微力ながらも力添え出来たらと考えている。

HPを立ち上げてみたもの

横山 乙和 (53理工物)

村の小中学校で組織している学校教育研究会の情報教育部で、それぞれの学校がHPを立ち上げるようになった。できれば、HPを通してインタラクティブな交流教育を目指したい、そんな願いでスタートした。

他校のHPを参考にしてみる。教育目標、沿革史、各教科の重点目標等々、何とも味気ないものが多い。とにかく「見てもらえる」HPにしよう、作成の方針をその一点に絞った。そのために写真を多用したビジュアルなものにすること、見出しや文章表現をやわらかいものにする、地域や学校の特徴を前面に出すことなどに留意した。

最近ではHP作成ソフトが色々あり、HTMLを知らなくてもワープロ感覚で作れるのがありがたい。幸いにも私の趣味の写真がここで役立った。

さて、立ち上げて一カ月過ぎた。学校宛のメールを毎日開いているが、IT関連業者からの連絡や案内以外、個人や他校からの反応はいまだない。張り切って作ったのに寂しい限りである。

どなたかこの拙文を読まれた方は、我が校のHPを開いて感想をお聞かせください。

<http://www.nakago-tjorne.ed.jp/>

三階の良さ

江口 司 (54理工・機械)

今年の四月に念願のマイホームを建てました。新潟市内にある実家の古家部分を壊し、そこに建てたのですが、敷地が狭いうえに屋内にガレージも必要ということで木造三階になりました。建ってみると狭いながらも楽しい我が新家というように、家を少しづつ楽しみながらの毎日です。ここで三階の特徴を体験からお話しすると「三階は眺めが良い。障害物が少なく気持ち晴れ晴れする。忙しい時でも外の景色をできるだけ眺めるようにする。運動不足解消に役立つ。足を使うことによって記憶力低下防止に貢献している。庭を屋外に造れなかったが、三階に少しでもいいから庭らしきもの(ベランダではない)があると家全体に潤いが生まれる。これは多少部屋の広さを犠牲にしても二階か三階にあるとよい。以上を考慮して居間は三階にあるとよい。これは長所短所あるが光と空気と眺めを考えればこれにかざる。」などです。これからの家は平面よりも立体としての意識を重要視し、ビルとは違う縦長の良さを見出し、さらに木造の柔らかさを生かした設計をすれば、いつまでも愛される家になるのではないのでしょうか。